

## 四谷の

# 千枚田だより



第 112 号



## 景観環境整備

十一月十八日、「あいち森と緑づくり事業」の助成を受け、連合地内の真菰、松下、池貝津集落を主体に凍結や見通しの悪い県道、市道、生活道路等の生い茂った樹木の枝打ちや除伐を実施した。

当日は連谷お助け隊が主導で保存会、関係集落六十名の出役で行われた。



(見違えるほどに整備された県道)

市・県等行政の財政難のしわ寄せで生活道路などの整備は見えないものとされがちで荒れ放題の状況にあった。平成二十一年から「あいち森と緑づくり事業」が発足。保存会はこの事業に応募、採択を受け、連谷校区を中心に集落の生活環境(むらづくり)の充実を図っている。過去、四年間を鑑みると「連谷お助け隊」を中心に保存会、集落住民

を交え、住みよい環境「むらづくり」に一丸となり汗を流したことが集落間の繋がり(絆)を一層親密にしたことは誰しも理解し、この事業の有難さには誰しも感謝を抱いている。



(リースした高所作業者を操り、枝打ちをする隊員)

「真菰・松下地内」樹木がうっそうと生茂り、見通しも悪く、冬季凍結でスリップ事故や接触事故が多発した箇所でもあるとともに通学路でもあり防犯上も心配な場所であったが、写真で見ると明らかなり、安心して通学、通勤ができるようになった。

なお、当日は午前八時から四時半までの作業のため、弁当が支給された。



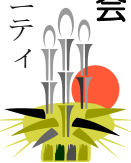
## お知らせ

### 連谷地区新年祝賀会

主催 連谷公民館

連谷コミュニティ

一月三日、連谷会館において午後五時より恒例となった「穂積市長さんを囲んで」を開催しますので大勢の参加をお願いします。新しい年を迎えるにあたり、私たちの連谷地区の将来展望などを市長さん、県議会議員さん、市議会議員さんとともに大いに語りましょう。



## 収穫感謝祭

十二月九日、ふれあい広場において  
主管：保存会 共催：「連谷お助け隊」・「棚田っ娘」・「ふるさと指導員」が力を合わせて恒例となった「餅つき大会」を開催した。

開催前日、早朝より会場清掃、テント張り、のぼり立てなどの準備を行っている最中、段戸山や竜頭山は吹雪で、段々此方も吹雪いてきた。天気予報では今日より明日の方が冷え込むとのこと、「何を言っているやあがる、今まで催しに天気が悪さ



をしたことはない！」と会員は意気軒昂。当日、朝から快晴。思ったより寒くもなく最高のお日よりのだ。

八時前には全員が集合(予定は八時半)それぞれ持ち場持ち場で準備にかかる。

十時開催 「天気に恵まれ最高の感謝祭が期待できる。今日、参加していただいた連谷お助け隊、棚田っ娘、保存会の皆さんは都市交流の一環としての接待はむろん、棚田が取り持つ日頃の感謝、忘年会のつもりで精一杯楽しんでください。また、

河西 忍と「ゆかいな仲間」の皆さんのご協力に感謝します。」と挨拶。



河西 忍と「ゆかいな仲間」のコンサート

浜松方面からのグループは八時前には待っている始末。六臼の餅(あんこ・大根おろし・よもぎ餅)と大はそり二杯のイノシシ汁を午前と午後用に用意。瞬く間に空っぽ！無価(ただ)とは尊い事だ。箸と器を持ち行列をつくる人たちに気の毒だと午後後の部をやや早めに行った。予定では焼き肉なども販売予定であったが、お助け隊は気つ風よく「銭はいらん、食べておくれん。」と、またまた連谷魂が前にでてしまった。

棚田っ娘の五平餅も「ただ」の餅やイノシシ汁をたらふく食べてからでは売れないと思っていたが完売の盛況でやれやれ・・・

感謝祭も最高の雰囲気のうち無事終わった。あとは「協力箱」にいくら入っているかが楽しみであるとともに心配でもある。

追記・・・この、イベントの開催を知らせるチラシを地元浦川新聞店家族の好意で海老地区全戸に配布して頂きました。

ありがとうございました。

## ご厚志

海老の小野田 清さんは千枚田を守る百姓の皆さんのご苦労や、千枚田を柱にした連谷地区の皆さんの闊達な活動(むらづくり)を毎月発行される「四谷の千枚田だより」を読み毎回、感激しており、何とかお役に立てば、また、千枚田を末永く守っていただければと、篤いご厚志が寄せられました。

行 平成二十四年十二月十五日

鞍掛山麓千枚田保存会

発 文 責 小山 舜二